

「日本発ものづくり提言プロジェクト」実行委員会 主催

「12・17 第4回全国アパレルものづくりサミット」

受付係行き

ご提出先FAX: 03-5261-7075

メールアドレス: info@apako-news.com

参加登録票

※会場整理の関係上、事前参加登録制とさせていただきます。

※参加費は当日受付でお支払いください。

※複数参加の場合は、恐れいりますが、コピーを取りお申し込み下さい

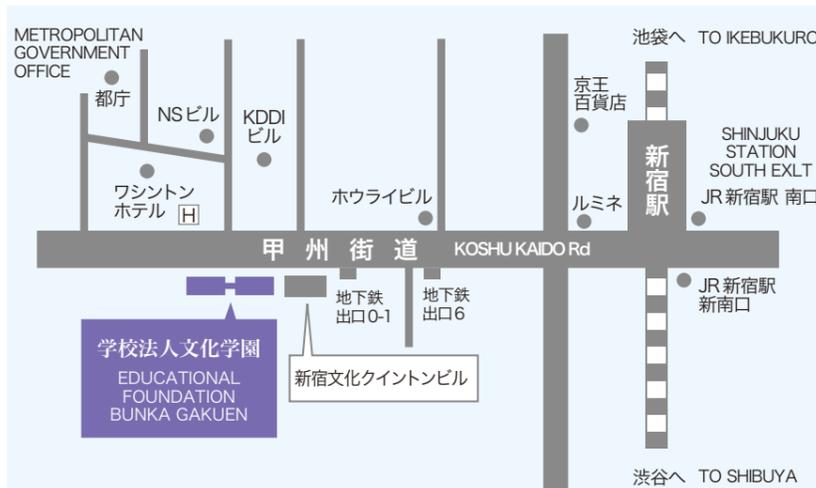
申込み締切日

12月10日(土)

(ふりがな)			所属 (会社・団体・学校)
※お名前			
ご連絡先	〒□□□-□□□□	都道 府県	市区 町村
	TEL		
	E-Mail		
	どちらかに○を付けてください。 ・社会人 (職種:) ・学生		
どちらかに☑を付けてください。 <input type="checkbox"/> サミットのみ参加 <input type="checkbox"/> サミット+懇親会			

アパレル&ファッション分野の「MADE IN JAPAN」の現状とこれからへのご意見や、アパレル製造業 (縫製・ニット) の皆さんへのメッセージをお書きください。

会場アクセス



JR (山手線・中央線・総武線・埼京線・湘南新宿ライン)、小田急線、京王線、都営新宿線、都営大江戸線、丸ノ内線、西武新宿線 新宿駅下車 新宿駅から徒歩で約8分

JR 新宿駅南口より、甲州街道に沿って初台方面へ徒歩8分

「日本発ものづくり提言プロジェクト」実行委員会 主催

発起人/稲荷田征 (日本モテリスト協会特任委員)、大沼淳 (文化学園理事長)、貝原良治 (カイハラ会長・発起人代表)、久米信行 (久米繊維工業会長)、貞末良雄 (メーカーズシャツ鎌倉会長)、森奥信孝 (岩手モリヤ社長)

第4回 全国アパレルものづくりサミット

今、改めて考えよう!日本のものづくり

—ITとデジタル技術の進化の中で

12月17日(土曜)午後1時~5時

会場/学校法人文化学園

20階Aホール(A201)

第1部 楽天、Makuake

プレゼンテーション

第2部 パネルディスカッション

参加費 一般2千円/学生1千円

懇親会 参加費は2千円



昨年、第3回全国アパレルものづくりサミット



第4回 全国アパレルものづくりサミット

「今、改めて考えよう！日本のものづくり——ITとデジタル技術の進化の中で」

〔企画趣旨〕

経済産業省が今年発表した「アパレル・サプライチェーン研究会報告書（新ビジョン）」は、日本のアパレル産業の厳しい現実と活路を開くことの難しさについて、改めて警鐘を鳴らしました。

「国内供給に占める国内生産比率は急激な減少を続け、2015年には3.0%となっている」、「日本のアパレル産業の存続自体が危ぶまれる」、「日本のものづくりの強みを活かせるようなサプライチェーンの再構築が必要であるが、国内製造事業者の実態に鑑みれば、残された時間はそう長くはない」。

国内外から高く評価される「MADE IN JAPAN」ですが、衣料品分野で「絶滅」が危惧される状況は変わっていません。前回のサミットで、私たちは、日本のアパレル産業の構造上の問題を指摘し、それらの克服に挑戦する企業や個人の事例を紹介しました。持続可能なビジネスを実現する展望は見えてきました。しかし、成功事例が「点」のままでは、日本のアパレル産業を再生させることはできません。

一部で生まれている先駆的なビジネス事例を「面」に広げ、製造業とアパレル企業の双方がイキイキとした状態を取り戻すにはどうしたらいいでしょうか。若者たちが自らの人生を賭けたくなくなるような希望のある産業を復活するためには何が必要でしょうか。

第4回目の今回のサミットでは、「ITとデジタル技術の進化」という大きな情勢変化を踏まえて、日本発ものづくりの活路を考えます。

第1部では、大きな影響力を持つインターネット小売業やクラウドファンディングのビジネスから見た「MADE IN JAPAN」の値打ち、商品開発や流通の課題を学びます。国内外の消費者・生活者は私たちの想像以上に、高い品質と感性を併せ持つ国内製品を求めています。そのことを最新の事例で実感していきます。

第2部では、日本発ものづくりを核とするビジネスを展開している3社のトップに、これまでの歩みと到達点、今後の課題をお話していただきます。「安心・安全」を始めとする国際標準化や2015年からスタートした「J∞QUALITY」事業に携わる方もこの討論に加わり、現状と課題を整理します。

時代はよりいっそう「MADE IN JAPAN」を求めています。希望のある未来を共にひらいていこう！という気持ちがみなぎるサミットにしていきます。ご期待ください。

お問い合わせ先：「日本発ものづくり提言プロジェクト」実行委員会 事務局
電話 03-3513-7931（アパレル工業新聞社気付）

第1部 / プレゼンテーション (13:10~14:10) 進行 / 久米 信行氏



楽天株式会社
スタイライフ事業 ビジネスマネージャー
ファッション事業部 シニアマネージャー
ファッション東日本・西日本事業部 シニアマネージャー
松山 奨氏



株式会社サイバーエージェント・クラウドファンディング
代表取締役社長
中山 亮太郎氏

第2部 / パネルディスカッション (14:25~16:55) 進行 / 久米 信行氏



株式会社センチュリーエール
代表取締役社長
森本 尚孝氏



株式会社バーンズファクトリー
代表取締役
松浦 永氏



メーカーズシャツ鎌倉株式会社
取締役会長
貞末 良雄氏



日本アパレル工業技術研究会
会長
近藤 繁樹氏



久米繊維工業株式会社
取締役会長
久米 信行氏